



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1
電話：03-3541-5151
担当者の所属・氏名 集中治療科 岡本洋史

【研究責任者】

聖路加国際病院 集中治療科 岡本 洋史

【研究代表者】

マサチューセッツ総合病院 長谷川耕平

救急外来を受診された方を対象とした気管挿管に関する研究

1.研究の対象

- ・2020年4月～2023年3月に当院救急外来で気管挿管をされた方

2.研究の目的・方法

- ・救急外来には重症な病状のために気管挿管（口から管を気管の中に入れる手技）とその管を通じて行う人工呼吸（機械を使って呼吸のサポート行う方法）が必要になる方がいらっしゃいます。気管挿管は訓練を積んだ医師であっても時に非常に困難な場合がありますが、どのような患者さんであれば気管挿管が困難であるかは未だ明らかではありません。また、気管挿管を補助する医療機器は近年進歩してきておりますが、それに伴い気管挿管の成功率や合併症率、患者さんの生命予後といったアウトカムがどのように変化していくかは明らかではありません。そこで、今回の研究では気管挿管が困難な患者さんを予測する方法を調査すると同時に、気管挿管の手法やそれに伴う合併症などの経年的な変化を調査することを目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・主なデータ項目は以下となります。

<情報>

気管挿管された日時、年齢、性別、身長、体重、気管挿管の適応、挿管困難を予測する身体所見の有無、挿管方法、挿管した医師の情報、挿管器具、薬剤、合併症の詳細、バイタルサイン、在院日数、転帰（生存／死亡）等

4.外部への試料・情報の提供

- ・データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。データと研究の対象の方との対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。

5.研究組織

京都府立医科大学付属病院 岡田 信長
湘南鎌倉総合病院 上段 梓
沖縄県立中部病院 岡 正二郎
東京ベイ浦安市川医療センター 高橋 仁
洛和会音羽病院 宮前 伸啓
兵庫県災害医療センター 井上 明彦
日本赤十字社和歌山医療センター 東 秀律